

虫たちに変身して仲良くゴールする親子



みんなであつなごろう

若葉保育園運動会

若葉保育園運動会(長野英子園長、126人)が10月2日、木倉小学校運動場で開かれました。「つながろう、わかばの◎～勇気を出して力の限り」をテーマに、園児たちは力を合わせてかけっこや遊戯などを笑顔で披露。小さな園児たちも一人一人が主役の日、観客席からは大きな声援が送られていました。保護者や祖父母参加の競技もあり、園児、家族や地域がつながって笑顔が溢れる一日となりました。年長児の井手葵くん(辺田見)は「消防隊長はドキドキしたけど、最後の運動会だったからがんばった」と満足気に話していました。

ネットに潜む危険な罣学ぶ

高木小でNECネット安全教室

インターネットの安全な活用方法を学ぶNECネット安全教室が10月1日、高木小学校(北森光代校長、101人)で開かれ、有害情報の対処策を学習しました。NECなどの主催。6年生17人は実際にパソコンを使い、電子メール、チャット、掲示板などを疑似体験しました。スタッフから、知らない人からのメールはファイルを開かない、新聞やテレビで正確な情報を入手するなどの解決方法に耳を傾けました。松永伊吹くん(高木)は、「知らない人からのメールは親に相談するよう気をつけます」と気を引き締めていました。



パソコンを使ってインターネット操作を体験する児童たち

笑いで御船を明るくします

ひよっこ愛笑会がオアシス慰問

ひよっこ愛笑会(高田博文代表)が9月8日、養護老人ホーム「オアシス」(江藤よしみ園長、41人)の秋桜祭りを訪れて、ひよっこ踊りで会場の笑いを誘いました。同会は、笑いで町を明るくしようと今年2月に発足。会員は60代の男女18人で、福祉施設への慰問を中心に活動して人気急上昇中です。同園に今年7月に入所した大賀美智子さん(80歳)は、「ひよっこ踊りは珍しくて楽しい。都会ではみられない」と太鼓判を押していました。高田代表は「みんなが笑って健康になるとうれしい。お呼びが掛かればどんどん出演したい」と意気込みを話していました。同会の練習は、月1回第2金曜日に公民館御船分館で19時から20時30分まで行っています。見学自由で会員を募集中です。詳しい内容は電話で直接お尋ねください(☎282-0604)。



オアシス中庭でひよっこ踊りを披露するひよっこ愛笑会

技走で吊るされたお菓子を口でつかむ児童たち



泥だらけが全力の勲章です

七滝中央小運動会

七滝中央小学校大運動会(村上孝利校長、72人)は9月18日、同小運動場で開かれました。統合して5回目を迎える同校の大会スローガンは「元気いっぱい協力して全力でやりぬく運動会」。競技は前日からの雨の影響で28種目から12種目に変更となりましたが、児童たちは芝生の大舞台で躍動しました。2年ぶりの優勝を果たした白団で団長を務めた木村隼斗くん(七滝)は、「雨の中、多くの人に応援してもらえて、みんなで頑張ったから優勝できた。いい思い出になった」と泥だらけの体操服で誇らしげに話していました。

学校を出て学んだ社会生活

御船中で職場体験学習

御船中学校(加藤敬之校長、471人)で9月7日～8日まで、町内約40カ所の事業所で職場体験学習が行われました。この学習は、進路の選択、仕事への責任感、礼儀の大切さなどを目的に毎年行われています。2年生151人は学校から出て、小売業、医療福祉、農業など全10業種から選択した仕事を、2日間みっちり肌で体験しました。町立図書館で本の貸し出しや図書整理などを学んだ池下卓弥くん(陣)は、「本を借りる人が多いとうれしい。お客さんとのコミュニケーションを見習いたい」と目を輝かせていました。



本の貸し出しをパソコンを使って処理する池下くん

伝統の神幸行列が練り歩く

秋の例大祭「通し門」

秋の例大祭「通し門」が10月9日、若宮神社(辺田見)で開かれ、町中心部を太鼓や三味線の音に合わせて練り歩きました。「通し門」は、1732(享保17)年の御船川大洪水で、同神社の御神体が9キロ離れた犬淵(嘉島町)まで流された際、氏子たちが行列をつくり迎えに行ったことが起こりと伝えられています。神幸行列は、子ども神輿を先頭に、化粧まわしの少女が打ち鳴らす太鼓に三味線の音色を合わせ、古謡「田の茂のうた」を合唱して、秋空の下を約150人の列が続きました。昨年は雨の影響で2年ぶりの神幸行列となり、太鼓の大役を務めた御船小5年の林あかりさん(辺田見)と福田彩乃さん(同)は、「沿道からの人が多くて緊張しました。太鼓の音が遠くまで響くようにたたきました」とすがすがしい表情で額の汗をぬぐっていました。



本町通りを練り歩く神幸行列